

全工油 第23回技術研修会 1日目講演

テーマ「グローバル市場における金属加工油剤のトレンド、課題、そしてソリューション」

報告書

【講演者】日本ホートン株式会社 技術部 技術マネージャー 諫田紀子様

【略歴】京都大学工学部石油化学科卒業、大学院工学研究科石油化学専攻 修士課程修了し、石油元売会社に入社、研究部・管理部・企画部と8年間勤務後家族の関係で一年間米国に在住。その後日本ホートンに入社 カスタマーサービス部、技術部勤務、現在に至る。

【講演内容】

- ・発表は、会社紹介、金属加工油剤を取り巻く現状や課題への取り組み、金属加工油剤の種々の性能に対しての具体的な取り組み例、結びの順番で説明された。
- ・会社紹介では、事業拠点、取扱製品、事業、ホートンの歴史の説明をされた。また、ホートンは、金属加工油のマーケットシェアでリーダーであることを説明された。
- ・金属加工油剤を取り巻く現状としては、日本国内と同様に、潤滑性の向上や耐腐敗性、泡立ちなど様々なトレンド・課題があることを説明された。また、年々厳しくなる法規制について、各国法規制対応チームを設置して対応していることを説明された。
- ・トレンド・課題への取り組みは、チャレンジ（＝好機）と捉えて、技術イノベーションとなるよう取り組んでいると説明された。
- ・潤滑性と潤滑剤について、様々な試験が可能であるトライボロジー試験機を使用し、圧延、切削、塑性加工油剤の評価試験に対応していた。金属加工には、境界潤滑領域、弾性流体潤滑領域が切り離せない領域であることを説明された。
- ・乳化安定性について、タービスクャンを使用することで、速く正確に予測できることを説明された。
- ・配合設計を行うにあたり、金属加工油剤の種々の性能について、実験計画法を使用し、多くの因子を同時に試験し統計解析を行い、配合の最適化を検討していることを、検討結果の例を基に説明された。
- ・結びとして、伝統的な考え方や古い知識・試験方法と、現在の洗練された製品開発のプロセス等の相乗効果により、技術志向の産業を提供していくことを説明された。

【質疑応答】

発表のパソコン操作していたため、質疑応答の内容を記録すること忘れてしまいました。どのような質疑応答であったか、覚えておられる方がおられましたらご教授いただきたく、宜しくお願い致します。

花王 榊原様、日興産業の方から質問があったかと記憶しておりますが・・・